

提 案 概 要

(西部地域スポーツ施設 指定管理者)

団体名：公益財団法人北九州市スポーツ協会

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針

【理 念】

公益財団法人北九州市スポーツ協会(以下「本協会」と記載)は「スポーツの普及及び振興を図り、市民の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する」ことを目的に設立され、北九州市スポーツ施設条例第1条の規程に合致した活動を展開している。

【基本方針】

以下の7つの基本方針に基づき、西部地域スポーツ施設の管理運営を行う。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ■法令遵守 | ■安全・安心 | ■公益・公平 | ■奉仕・貢献 |
| ■連携・連絡 | ■環境配慮 | ■国際化 | |

(2) 安定的な人的基盤や財政基盤

【人的基盤】

役員・職員は勿論、本協会の加盟団体、総合型地域スポーツクラブ等に豊富な人的基盤を有している。

加 盟 団 体	<ul style="list-style-type: none"> ■加盟団体36団体 ■加盟者数9万人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■日本スポーツ協会公認スポーツ指導者・各競技団体公認審判員・競技指導者等の有資格者を多数含む
役 員 ・ 評 議 員	<ul style="list-style-type: none"> ■大学教授・医師・弁護士・社労士・元教職員 ■競技団体役員・経験者 	<ul style="list-style-type: none"> ■本協会の運営全般に関して専門的な見地から相談・指導を含め、幅広く示唆、助言をいただく。
職 員	<ul style="list-style-type: none"> ■38名 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種スポーツコーチ・監督・指導者・教職経験者等、有資格者を含む
総 合 型 地 域 ス ポー ツ ク ラ ブ	<ul style="list-style-type: none"> ■市内9クラブ ■本協会がサポート指導 	<ul style="list-style-type: none"> ■連絡協議会、クラブ交流会、レッツスポーツ、チャレンジスポーツ大会の運営委託

【財政基盤】

令和5年度決算時の基本財産:126,000千円、貸借対照表による流動資産:76,311千円、流動負債:44,109千円と流動比率173.0%と高い経営基盤を有し、安定的した財政基盤を確保している。

(3) 実績や経験など

【業務経験】

平成18年度は北九州市立64スポーツ施設、平成22年度から総合体育館等37スポーツ施設、平成27年度から総合体育館等34スポーツ施設、令和2年度から総合体育館等26スポーツ施設の指定管理業務を行っており、体育館、陸上競技場、庭球場、弓道場、温水プール、野球場、屋外プール等、多種多様なスポーツ施設の管理運営を実践してきた経験及び施設管理の豊富な職員を有している。

【業務実績】

現指定管理期間である4年前、令和2年は26スポーツ施設の管理であったが、令和4年4月に1施設が閉鎖され、25施設の管理になった。また、指定管理期間初年度からコロナ感染症の流行により、施設の閉鎖や接種会場として役割を果たしたが、スポーツ施設としての利用者数、使用料収入(減免額を含む)とも、大幅な減員、減額となった。コロナ禍の中でできることを探り、総合体育館の床面の研磨など、流行後を見据えた施設の改修などをおこなった。コロナ対応が緩和された令和5年度には徐々に利用者数、収入は増加し、コロナ禍前に戻りつつある。

	2年度実績	5年度実績	増減人数(金額)	増減率
利用者数	464,243 人	717,963 人	253,720人増	54,6%増
使用料	68,662 千円	78,207 千円	9,585千円増	13,9%増

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

【PDCA サイクルを取り入れた管理運営】

施設の管理運営目的達成のため、サービス向上、安全性向上、効率化など、運営に係るすべてにおいて「計画→実行→評価→改善」のサイクルでチェックを実践するとともに推進を図る。

【具体的な事業計画】

生涯スポーツの普及振興 市民の健康・体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ教室・健康教室 	<ul style="list-style-type: none"> ■みんなで走ろう会
	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ少年団の育成指導 	<ul style="list-style-type: none"> ■競技別大会開催 ■体力テスト会実施 ■指導者講習会の開催 など
スポーツ活動拠点施設の 管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■チャレンジスポーツ大会 ■レッツスポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ■生涯スポーツリーダー養成講習会 ■親子体操教室
競技スポーツの普及振興	<ul style="list-style-type: none"> ■指導者養成講習会 ■ジュニア競技力向上事業 ■国際大会等出場者支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■選手強化講習会 ■福岡県民スポーツ大会派遣事業 ■スポーツ競技大会への援助
スポーツ情報の収集提供	<ul style="list-style-type: none"> ■ホームページでの広報 ■スポーツ教室・健康教室等の受講生募集パンフレット発行 ■各種事業案内チラシの発行と市政だより掲載 ■SNSを利用した発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■スポ協だより「KiSS」発行 ■行事予定の掲示

【利用者数の目標値】

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
750,000人	775,000人	800,000人	825,000人	850,000人

【利用促進】

- 自主事業の充実 → 6つの視点(公益性、均衡性、継続性、安定性、安全性、積極性)に基づき、積極的な自主事業を展開する
- 専門家と連携し、座学と実技を融合し子どもも大人も健康長寿を目指す教室を行う。
- 関係団体、公益財団法人北九州観光コンベンション協会、北九州商工会議所、青年会議所、北九州市障害者スポーツ協会、本協会賛助会員等)との連携による利用促進
- 総合体育館の大型ビジョンの有効利用方法を広報する。
- SNS を利用した情報発信を行うことによる利用促進にスポーツ協会専用アプリを導入し、個人利用者対象の来場ポイントなどを導入、特典を設け、利用者を増やす。

(2) 利用者の満足度

「利用しやすい施設・また、利用したい施設」をスローガンに取り組む。

【ハード面】

- 施設・用器具の整備 → 本来、市負担の修繕も緊急度により本協会で早期に修繕整備を実施
- スポーツ備品の購入
- 券売機設置(新札対応済み)
- 体育館等管理施設の使用用具及び器具・機器のメーカーによる定期点検実施、早期改善
- 災害時の避難者受入れと休息所整備及び情報提供用 TV 設置
- コインランドリー施設の設置

【ソフト面】

- 早朝開館への対応(大会の専用利用等準備時間の柔軟な対応)
- 総合体育館会議室のスポーツ目的外(文化(絵画)教室など)貸出の柔軟化
- ソフト事業の実施
- スポーツ教室・健康教室の開催
- 接遇の向上(職員研修の徹底による満足度目標値 令和11年度98%以上の維持推進)
- 多様な手法による利用者の意見把握
- 苦情対応5つの基本方針(未然防止、隠ぺい防止、再発防止、誠実対応、迅速対応)の推進
- 利用者へのご意見・要望・苦情等を管理運営の改善につなげる仕組みづくりと構築、モラハラに関する研修会の実施(利用者の苦情等による情報共有、事務局での迅速な対応、市との連携協議など)

【効率性】に関する取組み

(1) 指定管理料及び収入

- 指定管理料の提案額につきましては、本ページ最下段に記載のとおり。
- 光熱水費、一時委託費、人件費、印刷費等の効率化と削減を図り、施設の老朽化対策と改善に努める。
- 市の歳入となる使用料収入を令和7年度、90,000千円を目指す。コロナ禍前の目標金額を目指す。
- 定期券や募集冊子などを協会で作り、コスト削減に努める。

(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

- 永年の管理運営と経験を活かした確度の高い収支積算
- 想定外の事態発生にスピーディーな責任ある対応と処置
- 再委託業者への適正な管理指導

【適正性】に関する取組み

(1) 管理運営体制など

- 管理：理事会・評議員会、会長、副会長、専務理事、常務理事等による統括した管理体制
- 運営：事務局長1名、係長2名・所長4名、一般職31名の合計38名の職員を配置による管理
- 支援：協会加盟36団体、総合型地域スポーツクラブ、協賛企業及び個人・団体などによる支援

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

【個人情報保護】

- 個人情報保護体制の確立・個人情報保護規程の運用
- 個人情報保護マニュアルの活用・具体的な個人情報保護措置の実施

【平等利用】

- 受付業務・受付方法・利用案内などの平等利用・公平性の確保と徹底
- 人権・コンプライアンス・安全管理・平等利用研修などの実施
- 障害者用及び外国人用に利用しやすい施設の工夫と施設のUD化の促進

【安全対策・危機管理】

- 点検体系の確立(日常点検、定期点検、臨時点検、緊急点検)の推進
- 不慮の事故防止(屋外プールに雷検知器の設置と活用)
- 熱中症対策
- 万一の災害・事故等発生時の危機管理体制の確立(緊急対応マニュアルの活用)

【その他対策】

- 職員全員がAED講習を受講
- プールでの事故防止対策の徹底
- セーフティーボックス・コインロッカーを施設に設置
- 防犯カメラの設置による事故・犯罪の防止

(3) 地域貢献・社会貢献

【社会貢献】

- 定年制の見直しや雇用形態を多様化し柔軟に雇用出来る体制
- 労働安全衛生法に則り、職員の快適な職場環境の実現と安全と健康を確保
- 労働環境の向上への取組(メンタルヘルス対策、ストレスチェック、福利厚生)
- 事務の軽減化(決裁印の廃止、ペーパーレス化、統計事務軽減)
- 環境に配慮した取り組み

【地域貢献】

- 自主事業の協会の利益を必要備品の購入や災害時の避難所として役割を果たすべく施設の改善に利用

- 各管理施設にくつろぎスペースを設け、ケーリングシェルター休憩場所としての利用
- 地域の体育行事への備品無料貸し出し
- 地域の学校の学校行事・スポーツ行事の受け入れ
- 運営委員会への業務委託
- 市内業者への業務委託
- 市民雇用拡大への配慮
- 高校生のインターン受け入れ

提案額(千円)

令和7年度	610,364 千円
令和8年度	610,364 千円
令和9年度	610,364 千円
令和10年度	610,364 千円
令和11年度	610,364 千円

※ 提案概要は、提案書の内容を2枚程度(A4)にまとめてください。